

七条中学校だより6月号

京都市立七条中学校

令和7年5月28日

発行：校長 林 秀雄

点と点がつながるとき

みなさんは、「点と点がつながって線になる」という言葉を聞いたことがありますか？これは、あるとき学んだ知識や、日々の経験が、別の知識や経験と結びついて、新しい発見や気づき生まれることを表しています。＜知識と知識がつながるとき＞たとえば、理科の授業で「水は温めると蒸発する」と学びますよね。そして、社会の授業で「昔の人は塩を作るために海水を煮詰めていた」と学ぶことがあります。この2つの知識がつながると、「ああ、海水を煮詰めると水が蒸発して、塩だけが残るんだ！」と理解が深まります。このように、教科を越えて知識がつながると、ただの「点」だった情報が「線」になり、より立体的に物事を理解できるようになります。

＜つながるために大切なこと＞では、どうすれば点と点がつながるのでしょうか？知識と知識をつなげて新たな気づきを得るためには、いくつかの大切な姿勢や習慣があります。以下に、大切なポイントを紹介いたします。

- ① **「なぜ？」と問い続ける姿勢**ただ覚えるだけでなく、「なぜそうなるのか？」「どうしてこう考えるのか？」と疑問を持つことが、知識を深く理解する第一歩です。疑問を持つことで、他の知識とのつながりに気づきやすくなります。
- ② **人との対話を大切に**友達や先生との会話の中で、自分では思いつかなかった視点に出会うことがあります。他の人の考えを聞くことで、自分の知識が広がり、新しいつながりが生まれます。
- ③ **振り返りと記録を習慣にする**日々の学びや気づきをノートに書き留めておくと、後から見返したときに「このときの学びと、今の学びがつながった！」という発見が生まれます。記録は「点」を残す作業であり、後で「線」にするための大切な材料です。

こうした習慣を意識することで、知識はただの「点」ではなく、やがて「線」となり、さらには「面」や「立体」へと広がっていきます。みなさんの中にも、まだ気づいていない「点」がたくさんあるはずです。それがいつか、思いがけない形で「線」になる日が必ず来ます。点がつながった時とてもうれしくなりますよ。その瞬間を楽しみに、毎日の学びや経験を大切にしてください。

経験と言え、令和7年2月の学校だよりで、体験と経験について述べました。覚えていますか？1年生にも知ってほしいので再掲します。私は、体験を体験のままで終わらせることなく体験を「経験」へと昇華（しょうか；ある状態から、更に高度な状態へ飛躍すること）させることが、とても大切であると考えます。なぜなら、体験は自分の外側に存在し、「経験」は自分の内側に存在するものだと区別しているからです。だから、外側に存在する体験を自分の内側に存在させるための操作が必要となります。その操作とは、体験したことを「思考」する、「言語化（ことばに）」するということです。つまり、自分が体験したことを、結局、どういう意味を持つものであったのか、今後へどうつなげていくべきかと「思考」し、必要に応じて「言語化」するのです。自分の思考力・判断力・表現力などを高め、知的財産へと導くことが、体験を「経験」へと昇華させると言うことだと考えます。修学旅行・校外学習・学年での総合的な学習の時間等での体験が、振り返り（思考したりや言語化にする）や人との対話を通してみなさんの学びと成長につながることを期待しています。

諸費及び積立金について

預り金の6月分の振替は、6月25日に銀行引き落としになります。各学年の振替額の詳細は、別途配布プリントでお知らせ致します。口座へのご入金をお願い致します。

1年 4,850円	1年育成 2,700円
2年 7,160円	2年育成 3,160円
3年 2,700円	3年育成 2,700円

体調管理に気をつけて

この時期、梅雨の影響で、気温の暑い日と寒い日があり、腹痛や吐き気、発熱など体調を崩す生徒が多くみられます。また、急に暑くなったときは、体がまだ慣れておらず、熱中症になりやすく、注意が必要です。熱中症になる原因として、睡眠不足や朝ご飯抜き、体調不良などもあります。日頃から規則正しい生活を送り、体調を整えておいてください。

